

農研機構シンポジウム「未来茶業・有機茶研究会キックオフシンポジウム」開催要領

農研機構果樹茶業研究部門茶業研究領域長 佐藤安志

1. 趣旨

茶は有機栽培の面積比率が4.6%と高く、我が国の有機JAS取得農地の8.2%が茶園であり、その面積は年々増加している。また、海外では、日本産の有機栽培茶のニーズが高く、有機栽培茶の増産と有機同等性による輸出拡大が期待されている。その反面、茶の有機栽培は、雑草の繁茂、有機質資材の肥効が不明確、病虫害多発など、品質や収量を不安定にするリスクがあり、新規参入や規模拡大の障壁となっている。これらの対策には収益性の高い、有機栽培茶の持続的安定生産技術の確立が不可欠である。そこで、農研機構果樹茶業研究部門は茶の有機栽培に関する技術情報の共有と発信を目的として、「知」の集積と活用場「未来茶業」研究開発プラットフォームの中に、「未来茶業・有機茶研究会」を発足した。本キックオフシンポジウムでは茶の有機栽培技術の開発の現状と課題および研究会の今後の活動方針について検討する。

2. 開催日時

令和7年10月23日（木）13:30～16:20

3. 開催場所

静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）11階 会議ホール・風
静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

4. 主催 農研機構果樹茶業研究部門

共催 「知」の集積と活用場「未来茶業」研究開発プラットフォーム、農研機構植物防疫研究部門

5. 参集範囲

生産者、国及び地方自治体行政・普及担当者、国立研究開発法人及び公設試験研究機関、関連企業、学術団体、プラットフォーム会員、当該技術にご興味のある方

6. 定員 200名

7. 参加申し込み

Microsoft Form を利用した web 形式で申し込みを受け付ける。

アクセス先：<https://forms.office.com/r/LVUVCH8efD>

申し込み期限：令和7年9月19日（金）



8. プログラム（調整中）

13：15 開場（予定）

13：30 開会あいさつ

佐藤安志（農研機構）

13：40 茶の有機栽培をめぐる情勢

河合智之（農林水産省）

14：00 茶のスマート有機栽培技術体系の開発と現地実証試験の概要説明

吉田克志（農研機構）

14：30 蒸気を利用した有機茶スマート管理システム

鈴木智久（カワサキ機工株式会社）

15：00 「グリーンな栽培体系加速化事業」における秦野の取組

山田龍太郎（農研機構）

15：20 舞台アレンジ配置変更・休憩

15：30 総合討議

16：15 閉会挨拶

16：20 閉会

9. 問い合わせ先・事務局

農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室 茶業連携調整役 荻野暁子

〒428-8501 静岡県島田市金谷猪土居 2769

E-mail：ogino.akiko148@naro.go.jp

TEL：0547-45-4101